

見積書チェックリスト

大規模修繕・防水工事の見積書を確認するときの観点をまとめたチェック表です。理事会・修繕委員会での確認、業者への追加質問の下書きとしてお使いください。1社ごとに1枚コピーして記入すると、複数社の比較がしやすくなります。

1. 基本3点（独立して書かれているか）

確認	確認項目	確認する内容	メモ
☐	数量の記載	施工面積（㎡数）の根拠が示されているか。「一式」表記のみで数量が書かれていないと、他社との比較ができない	
☐	単価の記載	㎡単価または人工単価が明記されているか。総額のみで見積もりは内訳が確認できない	
☐	工法名の明記	「防水工事」ではなく「ウレタン塗膜防水（密着工法）」等、具体的な工法・仕様が書かれているか	

2. 拡張チェック（総会説明の根拠になる4点）

確認	確認項目	内容	メモ
☐	保証内容との整合	見積書に記載された工法と、保証書に記載された工法が一致しているか	
☐	仮設工事の内訳	足場等の仮設工事費が独立した項目として明記されているか（一式にまとめられていないか）	
☐	工期の記載	着工日・完了予定日が明記されているか	
☐	追加費用の条件	下地の状態等により追加費用が発生しうる条件と、その場合の連絡・承認の流れが書かれているか	

3. 業者側の確認（資格制度の一般的な仕組み）

確認	確認項目	内容	メモ
☐	建設業許可	建設業法にもとづく制度上の許可（防水工事業）を保有しているか。一定金額以上の工事を請け負う場合等に必要	
☐	技能検定（防水施工）	国の技能検定制度における「防水施工」の技能士資格を持つ職人が施工に関わるか	

この表は個別診断ではありません

資格・許可の有無や見積書の記載内容の確認材料の整理です。個々の業者の技術水準・施工品質の保証や、特定業者の優劣判定を行うものではありません。最終的な選定は理事会・総会での判断になります。

マンション修繕白書編集部作成。詳しい確認方法は記事「マンション防水工事の見積もりチェックポイントと業者資格の確認」(mansion-shuzen-hakusho.pages.dev/articles/mansion-bousui-mitsumori-checkpoint-shikaku/)を参照してください。